

10月27日、2学期の講堂礼拝を行いました。今回は、本学園理事長の阿部恵木先生に「コロナ禍における心のあり方」と題して法話をさせていただきました。

阿部先生は、コロナ禍といわれたこの1年余りを振り返り、表面化した負の側面について、「政治が悪い」「社会が悪い」「大人が悪い」ではなく、もう一度「私たちの姿」を「私」がきちんと見つめなおす必要があるのではないだろうか？とお話ししてくださいました。また、それらを仏教の話とあわせてわかりやすくお話ししていただき、最後に「主体的に実践すること」が大事であると説かれました。

以下、生徒達の感想です。

ただ、ネガティブに生きていくよりも、何かいい方法がないであろうか、もっと他に可能性がないであろうかと考えて生きていく方がよりよい人生を送れるだろうと思ったので、これからそのような考え方をして、生きていけたらよいなと思います。

自分の事ばかりを考えたり行動にするのではなく、人と向き合って人のためを考えて行動できる人になりたいと思いました。また、ただ単に大人の真似をしたりするのではなく自ら考えて正しい道を自分で選べる人になりたいと思いました。

自分たちが普段、光華で学んでいることは、これから生きていくための力を培う大切な学びであることに気が付いた。コロナ禍の今、またこれから同じような事態が起きた時に、さまざまな職業や立場が協力することの大切さを感じられたお話だった。今日のお話を忘れずに、生活やこれからの人生に生かしていきたいと思った。

「和」を大切にしたいという願いがある一方、すんなりと「和らぎ合う」ことができていない現実ではありますが、それでも「和」のある社会・学校でありたい、と一歩ずつ歩いていこうという思いや決意が感じられたとても良い講堂礼拝だったと思います。

人間は、環境が変わると態度や性格など左右されてしまう物で自分の意見や意識を持つ事が大切だとわかり、また自分の事だけではなく国語や社会、道徳(光華では、宗教)など少なからず相手の気持ちを考える機会が学校にあるとわかりました。

サルとチンパンジーは、人間の祖先だからどれも人間と同じでサルとチンパンジーも差がないと思っていたけど、サルとチンパンジーは全然違い、仲間思いな所やコミュニケーションなど相手の態度などが違い私も、サルのように自分のだけではなく、相手の気持ちも考えようと思いました。

今回の講堂礼拝で大事だと思ったことは、助け合いだと思いました。なぜなら、今コロナ禍で誰もが不安で、少し自己中心的になってきているので、自分のことで精一杯で少し他人と、「助け合い」というのが出来てないからです。人と近いゴリラや猿、近い動物でも助け合いというものがあるかどうかで、差があり、ゴリラは困っている仲間を助けるが、今の人には自分のことでいっぱい他の人を助ける事まで行かない。大変だけど、みんな助け合う事が大事。

ゴリラは弱いものにいろいろ分け与えたりするのが人間も一緒だと前までは言われていたが、最近サルに似てきたという言葉に私は興味を持ちました。コロナ禍でいろいろと不安とか心配、そして誹謗中傷が増え続けていることにより私はみんなが思いやりを持つのが良いと思いました。誹謗中傷によって傷つけられた人もいるし、自分がもしコロナにかかったときかもそういうのは考えなければならぬと今日のお話を聞いて改めて私は思いました。阿部理事長先生の話の聞きなれるほどと思ったりする話がいくつもありコロナのいろいろな事の見方が変わってきたりしたので今日の話の聞いて損は絶対はないなと私は思いました。

最近のコロナの陽性者数を見て気を付けようと改めて思いました。また、陽性者数は感染者じゃないということを初めて知りました。人間は、サルよりもゴリラに近いということが知りました。けど、最近コロナによって上下のあるサルに近づいていることを知って思いやりのあるゴリラに近づくように自分も思いやりをもとうと思いました。そして感染者の人に誹謗中傷しているということをして、そういうことがなくなるようにまず、自分から思いやりをもとうと思いました。

わたしは、今日の講堂礼拝の阿部理事長先生の話の聞いて、わたしはコロナ禍で京都光華女子大学中学校に通って、人間はゴリラに似ていると分かった。

今、現在コロナ化で我慢や苦しいことが沢山ありますが、その中でも友達と今会っていたり家族との会話が増えたりする機会が増え、最悪なことが続くのではなく、良いこともありこの京都光華中学校・高等学校で学びや勉強今できていることを大切に、過ごして行こうと思いました。また、今日のお話を聞いて大人の世界では誹謗中傷などがおきており人間がサル化し、ゴリラと人間よりサルと人間の方が今の世界は似ています。だからこそ私にできる事を取り組んでいくことが大切だという事が分かりました。

コロナ禍で誹謗中傷を受けている人もいるのに他者への思いやりができていない人がいる。かかりたくなくてもかかってしまう人が世界でもいっぱい居るのに誹謗中傷をしたらだめだと改めて思った。

コロナにかかっている人が学校にいたとしても「なんでかかったん」とか攻めずに「早く治ってね」とかの一言をかけてあげたいです。

人間はさるやゴリラに近いことがわかりました。 コロナでは京都で陽性者や亡くなってしまったことがわかりました。

先生の話聞いてコロナ過で色々な事について知りました。サルとゴリラには、違いがあるんだと思いました。講堂礼拝をし、仏教について学んだり、仏教について知りました。また、コロナ過で感染状況でいろんな人がなくなった人もいるんだと思いました。

今、現在コロナかで、わたしはなんでもネガティブに感じて、ネガティブな言葉をたくさん言ってしまうようになりました。でも、今日のお話を聞いてたくさんの方が、コロナでいろんな行事がなくなり、また、大切な人に会えないなど悲しく、苦しみをしているんだと改めて理解し、悲しい想いをしているのを自分だけじゃないんだと感じ、自分自身を変えて良い人になり、このコロナの時期にみんなの力にできるだけなれるように頑張っていこうと思いました。この話でいろいろなことに挑戦していこうと思いました。

人間はもともとはゴリラ社会だったのに、サル社会になってきているのは確かにそうだと思います。コロナが広がり私たちは、周りが見えて居なくなっているのも確かだと思います。だからこそ、周りを見て行動できるように頑張りたいです。私は、この京都光華で自分が主語で物事取り組みたいです。けれど、自己中心的な考えは持たないようにして、ゴリラ社会のように弱いものが嫌な思いをするのではなく、弱いものも強いもの自体を分けないようにしていきたいです。例えば、クラスで何かを決めるときには、自分の考えだけを押し通すのではなく他の意見もしっかり聞きたいです。 コロナ禍で起きているマイナスなことも、しっかりと受け止めたいです。誹謗中傷やデマ、不安を抱えている人はたくさんいることを理解して、今後の学校生活を送っていききたいです。

サルとゴリラよりも人間とゴリラのほうが近いということがわかりました。 今のコロナ禍でいろいろな年代の方がコロナに陽性されているので誹謗中傷をおさえることやいじめをなくすこと、が私たちに大切だと思いました。 本校のめあて「他者への思いやり」を心がけていけるように今後、していこうと 思いました。

光華中学校高等学校の阿部理事長先生のお話を聞いて、新型コロナウイルスによって家族と話したり、過ごす時間が増えたことが分かりました。しかし、新型コロナウイルスにより、休校やオンライン授業となり、友達と話す機会が減りました。なので、新型コロナウイルスは家族と過ごす時間が増えたが、友達と過ごす時間が減りました。話が変わりますが、私は最近、友達関係で家でも落ち着かなく、心の病気に日々悩んでいます。ですが、お話を聞き心が楽になりました。この世界では、私のような人がいないことはありません。なのでこれからは、私が経験したからこそ、日々私と同じ思いをしている人々を助けたいと思います。また、1人でも多くこのような思いをしている人を減らし、皆が幸せに生きることができるよう、私に出来ることを全力でしたいと思います。

コロナかでゴリラかではなくサル化している。人間はゴリラにちかいということがわかりました。人のことを考えて行動しないといけないと思えました。SNS等で誹謗中傷がありますが、誹謗中傷をしている人は他者への思いやりがないと思えました。

今この時期、コロナの影響で色々なことが制限され苦しんでいる中、私は今日の話聞いて新しく学んだこと、勘違いしていたことがたくさんありました。まず、陽性者は新型コロナウイルスに完全にかかってはいないこと。衣類や自分の私物品に新型コロナウイルスがついている場合も陽性者と判断されるということを今回の講堂礼拝で知ることができました。また、世の中はSNSの利用が増えているため、知りたいものを検索するとすぐに知ることができずし、とても便利で私も助かっています。そんな便利なものはいいこともたくさんあれば、悪いこともたくさんあります。今この世の中はコロナについての不安がとても大きいです。できるだけ怖いコロナとはどういうものなのか知りたいものです。そんな中で情報を取り入れられるのはありがたいですが、正しい正確な情報もあれば、間違った不正確な情報もあるということを改めて考えて、偽の情報に惑わされないようにこの苦しいコロナと向き合ってきたと思えました。

私は阿部理事長先生の話聞いて感じたことは嘘の情報に惑わされないという言葉をしっかり考えてみようと思えます。わたしはまえに友達からラインでチェーンメールがおくられてきたことがあります。当日小学4年生の私はこのメッセージを誰かに送らないとじぶんが死んでしまうと思って誰かにメッセージを送ったことを今でこうかいしています。中学に入って学校が離れた友達にチェーンメールが来なした。私は友達に私と同じ失敗をしてほしくないと思って注意したことがあります。なので私はネット上の嘘の情報に惑わされないようにしたいと思えます。

阿部理事長先生の話でコロナのせいで子供の気持ちの変化が大きかったり、若い世代がコロナをばら撒いているなどの話を聞いて、確かに若い世代の（自分たちも）人達が好きでコロナにかかってばら撒いているのでは無いかと共感しました。これからは今日の話をしっかり受け止めて過ごしていきたいなと思います。

この講堂礼拝で気づいたこと、感じたことは、コロナの状況良いこと悪いことがあってそれで気づいたことは、家族との時間が増えていて友達のトラブルがなくなったことが良いことだと知れて悪いことは、コミュニケーションがとれなくなって友達と話せないのが悪い点ということが、わかりました。そして、陽性者とはについて交通事故をしても死亡の内容は、コロナということがわかりました。これには私が感じたことは、良い点悪い点が、あって時にはよくて悪くて交通事故で亡くなっちゃったんですけど、内容がコロナということがちょっと私には、残酷だなと少し思いました。そして、コミュニケーションが、

理事長先生のコロナウイルスの感染者と陽性者の違いや、仏教とは今までは「神様」とだけ思っていたのですが、本日行われた講堂礼拝の阿部理事長先生のお話から「自分自身の問題」だということがわかり、これからの仏教の時間に活かしていきたいです。また、このような状況でも前向きに考えて毎日元気に過ごすことができているのは見えない中で戦っている医療従事者の皆様や周りの人のおかげなので、その分自分自身と毎日向き合いながら過ごしていきます。

阿部理事長先生のお話を聞いてコロナは子供たちだけでなく、大人の人達にも大きな影響を与えているということが分かった。

コロナでいろいろなデマが回っている中で、自分自身も何回も嘘の情報を信じていたこともあったけど、一つの情報にとらわれずに自分自身で情報管理できるようになることが大切だと思いました。また、見ず知らずの間に自分のことばかり考えて行動しているかもしれないので、周りのも目を向けられるように努力しようと感じました。コロナのせいで偏見を持たれたり、差別されたり、誹謗中傷するのはだから、自分も気を付けようと思いました。今後もコロナと付き合いきうえで気を付けることや、どのようにコロナと向き合っていくべきかがよくわかりました。

コロナ禍で支えてくださっている人に感謝しないといけないなと思いました。自分が大切にしないといけないことを考えたいです。自分にでいることをしたいです。

コロナ禍でいつも通りの生活をするのは難しいけれど、マイナスな部分に目を向けるのではなく、こういう時だからこそ、自分が自分のために、誰かのために出来る事を考え、行動することが大切なのではないかなと思いました。小さな幸せや、人の良いところを見つけられるような人になれば、いつかコロナが終息したときに、自分にとってよい毎日が来るのかなとおもいました。

若い人がよくマスクを外して歩いているのを見る、だから若い世代がコロナを世に運んでいるっていうのはおじいちゃんもよく言ってたけど、コロナに感染してしまった人が自身の不注意でかかってしまった、お前が悪いと人を差別することなく、自分の目で事実を確認してからものを発言するべきだと思った。

自分が見ず知らずの間に自分のことだけを考えて行動しているんだと気づき、もう少し普段の自分を見直してみようと思いました。そういう気持ちが出てしまうのは自然なことであってもいつもの自分の気持ちと行動をしっかりと見つめなおそうと思いました。今コロナウイルスが流行っている中で情報が本当に正しいか、判断する必要があるので自分で何が正しいか考えて行動するようにしたいと考えました。どうしたら、他の人も自分自身も気持ちよく過ごせるようにするにはどうすればいいのか今一度考えて行動する必要があると思いました。人を偏見などで決めつけないことをきをつけようと思いました。ちゃんと中身を見て対応していくことが大切だということがわかりました。

このご時世の中、偏見や思い込みがひどくなったりつらいことも多かったですが、少しでも頑張ろうと思えました。私も少し決めつけていたこともあったのでたのびに心に残りました。

コロナ禍での人との関わり方についていろいろ考えることができました。前まで話し合いの時に気を使って自分の意見が言えなかった事があったので今回、自分を持つのと、自己中心的なのは全然違うことが分かったのでしっかり自分の意見をいうようにしようと思いました。

とても分かりやすく話してくださり楽しく聞くことができました。すごくたくさんはなしてくださって内容が盛りだくさんできいてたのしかったです。私もこの話を生かして今日からすごしていきたいです。司会の方もとても上手で聞きやすかったです。わかりそうでわからないところも少しずつでもわかっていけたらなと思いました。

陽性者と感染者は違うことを初めて知った。最近では感染者は減ったけれど第六波がくる
と聞いているので一番人との接触が多い自分が気を付けて家族や周りの人に迷惑をかけな
いようにしたいです。

コロナのニュースを何気なく見ていたけど死者数の見方や陽性者なども自分が思ってた
ものではなかったのが驚いた。早くコロナが終わるように私もあまりであるかないなどの
心がけをしようと思った。

コロナの影響で家族との時間が増えたり友達との時間が減ったりしているからもっと家
族や友達と過ごす時間を大切にしようと思った。自分のことばかりじゃなくて他の人の
ことも考えながら手伝いをしたりしようと思った。また宗教の歌は今は歌うことができな
いけど聞きながらでも歌えるようにしておこうと思った。

コロナでまだ状況が直ってないですが、その状況がどのような状態なのかを改めてグラ
フで発表されると20代の人々がほとんどだったので、年寄りの人々よりも若い人々がコロ
ナにかかる確率が高いことを知りました。そのような状況での対応や態度などをどのよう
にしていくのかを改めて考えさせられました。現在は感染者がまだ少ない状況ですがまだ
完全に終わっているわけではないので、今後の対応をより良くしていこうと感じ、かからな
いために努力しようと思いました。

私は途中から来たのであまりわからなかったですが、この光華高を出てからの話をされ
ているのを聞いて自分にもこれからいろんな道があるんだなとおもいました。

仏教の教えの内容だったり、コロナに対する今までの人々の対応だったり、改めて確認し
てみて、ほんとに仏教の教えは、どうでもいいようで、私たちの心をそのまま表しているん
だなと改めて感じました。コロナ感染者の差別や偏見のように、人間が皆同じ社会に暮らし
ているはずなのに、一人ひとりが精神的にもすごく孤立してしまっているのが現実です。何
もコロナに限らず、大げさに言えばいじめとか身近で言えば陰キャだからとか、そんなこと
だけで傷つけあい続けるから、結局不安を持った人ばかり増えると思います。私もよく悩み
ますが、いじめる方が悪いのかもだけど、それ以前にいじめられる側も何か嫌なことをした
のかもしれないし、なんにせよ結局偏見など、心の決めつけで来るとほぼ言えるし、簡単
そうで複雑だとおもいました。今日の内容を踏まえて、改めてこれからの人間関係を見直し
ながら、自分の悩みを整理していってみようと思いました。

コロナウイルスで本当に大変な時期ですが、理事長が言っておられたようにこれにもメリットデメリットがあるだろうし全部をネガティブに考えるのではなく「これはよかった」「今これができない分、終わったら何しようか」など沢山考えることもできるだろうし悪いところばかり見ないで少しでもポジティブに考えられたらいいなと思いました。この時期子供たちも大人も過度のストレスに悩んでいるとは思いますが、自分なりの発散方法でストレスをためすぎないように今後ももう少し頑張っていこうと思います。

今日の講堂礼拝に参加してコロナの大変さが改めて分かりました。今は普通になっているマスク生活や、友達と顔を合わせてご飯を食べないことなどコロナになってから沢山のことが変わったんだなと思います。理事長さんの話を聞いてたくさんの世代の人が困っているんだなと思いました。

コロナに対しての日本の体制や、これからどうすべきなのか、私たちがどう動くべきなのか考えさせられる時間でした。今回の講堂礼拝に参加して自分自身と見つめ直すことや、これからの未来のこと、コロナと向き合っていくうえで私たちはどのようなことができるのか深く考えることができました。

陽性者と感染者は全く違う意味を持っていると分かりました。講堂礼拝は大人になっても忘れないきちょうなけいけんということが分かりました。差別はとてもよくないと思いました。とてもいい話でした。

コロナウイルスの怖さが改めてよく分かりました。死亡率やコロナウイルスにかかってしまった確率。後遺症などの事を考えたらとても恐ろしく思います。また、今熱がずっと続いています注射を打って正解だったと思いました。副作用を怖がるよりコロナウイルスにかかるということが何倍も恐ろしいと改めて感じました。

コロナで変わったことがたくさんあるんだと感じました。ゴリラは相手の気持ちを考えて過ごしていることが分かりました。さるが人間に近いことはすごく納得できました。これから自分のことだけでなく相手のことも考えて過ごしたいです。

コロナで、この二年間我慢することが多かったし、学校が休校になったりして友達に会えなかったり、マスクを着けて学校に来ることが当たり前になったり、友達とこのコロナが流れて2年間で私生活の過ごし方が大きく変わってしまった。確かにしんどかったしつらかったけど、だからこそ、いつも通りの生活を送れていることが幸せであることに気づくことができた。

コロナにかかった人が悪いとか、危ないとか好き勝手なことを言うんじゃないかとかかかってしまった人もなりたくてなったんじゃないし、心の中は不安や怖いっていう気持ちが大きいから、自分の意見だけで主張するのではなく言われた相手のこととか自分の有利とか安全なところに逃げないことが大切だと思いました。

今回の講堂礼拝に参加して最初に陽性者と感染者は全く違う意味とおしゃっていてそれに対して驚きもあったしコロナに対する向き合い方もあらためて知ることができました。人間がサルに近づいてきているのでは？ということについて確かにそうだなと思ったしこのコロナ禍でそれがどんどん見えてきているからそれに関しては個人的にも直すところだなと思いました。

今回の講堂礼拝を通して緊急事態宣言が4回出されていることがびっくりしました。コロナというのが始まった時から、いろんな予定がつぶれたりしていたので改めて、ストレスもたまりやすくなったなとおもった。困っている人が何人もいるので自分もコロナに負けないように頑張ろうと思いました。

今日の講堂礼拝を通して今まで勘違いしてしまっていたことやこれからどのようにして生きていけばいいのか考えることができました。コロナになるのは若い人が多いが重症化するのは高齢者のほうが多いこれは若い人のほうが外に出なければいけないこと、出ることが多いから高齢者の人たちは家から出ることがあまりないからかかることが少ないこと。人間はチンパンジー的な仲間思いの考え方からサルの強い弱いの考え方に変わってきていること。などこれから生きていくうえで大切にしていけないといけないことを学べたのでこれから生かしていきたいです。

移す人も移された人もその人の責任であり人のせいにはいけないと思った。それはすべて動物でもいえることでありそのことについて日々人間は今までは動物が近づいてきていたものがコロナや世界が発達していくにつれて人間が動物に近づいてきてしまっていることが先生の話聞いて感じました。とても長くて解釈するのは難しかったですけどいつか理解できればいいなと感じました。これからはいろいろなことに対して自己責任で解決していきたいです。

コロナが約一年続いている現状の中で、人間がサル化しているということに驚きました。人間の初期はゴリラだということは知っていましたが、人間とゴリラの違いよりもゴリラとサルは似ているようで似ていないことを知りました。それぞれ考え方も違えば、仲間と分け合う餌の相手への思いやりも異なること江尾知りました。

今回の感話を聞いて、コロナ対策を徹底する毎日の中にある不安がどこからきているのかははっきりわかった気がします。話の中の「ゴリラとサルと人間」それぞれの違いについての説明で今の自分たちがどんな姿になっているのか見直すことができました。これを踏まえて、今の姿からもとのあるべき姿に戻せるように努力します。また、インフォデミックに注意して普段の生活を送りたいと思います。

今回の講堂礼拝に参加して生かしていきたいことは、SNS の発言に対してしっかりと自分で考えてその発言が正しいかどうかを確認していきたいと思いました。コロナの問題は悪いと思うけど私たちにとっては良い刺激になったともいました。なぜなら、SNS についてもしっかりと見直すことができたからです。

今回の話でインターネットで流れてきた情報だけを信じるのはいけないなと思いました。また不安を感じたりするのは周りだけの問題ではなく自分自身にも問題があるんだと思いました。

新型コロナウイルスの影響でおおきに祭 Move!などが縮小される形になり、私が想像してた高校生活とは大きく変わってしまったり、部活動でも大会や演奏会がなくなってしまったりとショックなことが多かったので阿部理事長のお話を聞き、一度気持ちを切り替えてコロナと向き合っていこうと思うことができました。SNS などではコロナは 2023 年に終息されると噂されていますが、先生がおっしゃった通り鵜呑みにせず油断せずこれからも気を付けて過ごそうと思いました。

コロナによって世界が大きく変わり、新しい脅威に晒されているということに気づき、自分自身で情報の取捨選択をしていく必要があると思った。しかしそれだけじゃなく、人と人との繋がりを再認識できたり、友達に気軽に会えなくなったことで友達の大切さにも気づくことができた。コロナは、良い意味でも悪い意味でも私や世界に対して影響を与えたなと今日の講話を聞いて感じた。今回学んだことを忘れず、日常に生かしていきたい。

私たちの年代はネットのことよく信じてしまいがちですが、今日の話聞いてネットだけを信じてはいけないなと思いました。また、ゴリラと猿よりも人間とゴリラのほうが似ているのは知りませんでした。今日の人間の進化のグラフを見てどんどん進化しているのだなと思いました。これからどのようにしてコロナと付き合っていけばいいのかを改めて感じる時間になりました。

コロナのことについて聞いて10代や20代が多いことから、若い人達はコロナへの取り組みができていないなくてコロナのせいで大切な人をなくしている人たちが沢山いる中で不要不急の外出をしてコロナ感染者をふやしたくないなどおもいました。理事長のお話を聞いてしっかり考えて行動していきたいです。

インターネットを使う時代にたくさんの誹謗中傷が飛び交っていることは、インターネットを使う上ではしょうがない気もします。ですが行き過ぎた誹謗中傷は今すぐにでも規制を強化し無くすべきだと思います。

今回の講堂礼拝で阿部理事長先生のお話を聞いて、コロナの危険さ、またコロナになってからの教育の変化を学びました。コロナになってから、人類は温厚なゴリラとではなく、サルに近づいてきているということを見てとても驚きました。私は確かに、コロナ渦になってから友達と思うように遊ばず、イライラすることが増えた気がします。これからイライラしたときは、少し深呼吸して落ち着いてみようと思います。

今日の講堂礼拝で理事長がお話してくださったコロナについて、私は理事長のお話にとっても共感しました。理由は、今のコロナ渦において、日本人は、ゴリラではなく、猿のように地位をつくり、意味のない争いをしたり、インターネットでデマなどでほかの人をだましたりしていて、それは利益はあるかもしれないかもしれませんが心情的にはあまりいい気持ちになれません。猿もサルでいいことはあるかもしれませんが私はゴリラのようになりたいです。

コロナの陽性者数と感染者数は違うという話があって、いろんな情報が飛び交う中で文字だけを見て全てを判断しているような気になっているのではないかと思った。また、誹謗中傷のお話があり、人は自分のことでなくても自分のことのようにとらえてしまったり、過剰に反応してしまっているのではないかと思った。

今回は教室での礼拝だったが、ちゃんとできたと思います。阿部理事長先生のお話では、新型コロナウイルス感染症が流行っている中で自分はどう感じたのか、どうすべきなのかを改めて考え直すことができたと思います。まだまだ新型コロナウイルス感染症がしっかりと落ち着いたわけではないので、これからの自分の行動なども考えて過ごしていきたいです。

世の中にコロナが流行って、自分たちの登校が中断されたこともあるくらい大変な状況が続いているが、大変なのは自分たちだけでなく世の中の人全員がコロナに向かい合って生きているのだということを改めて感じました。そして、SNSが発達している中で誹謗中傷をすぐに行うことができ見れる中で私の中でも共感することはありましたが、それを書いてしまうのと思っているのとでは違うと思いました。

コロナ渦でいろいろなことが制限されてきて不安に思うことや心配になることが多々あったけど、子供を対象としたアンケートの結果を見て自分以外にもそういうことを思っていた人がいることを知れたのでよかったです。人間とサルとゴリラについての話も聞くことが出来たので今日大事だと思ったことは今後生かしていこうと思いました。

コロナのニュースとか毎日は見なくなったし人数もすごく減ってきたけどまだまだ油断できないしこれからも気を付けて行動しようと思った。コロナがはやり始めたころはみんなピリピリしていたけど今はうまく対処出来ているひが増えているからこれからも差別とかがなくなればいいなと思う。

誰かに頼ったり、誰かのせいにするのではなくまずは自分を見つめなおして考えることが大切だということを学びました。今の世の中は同調圧力があるなと感じました。そのせいで嫌な思いをしている人もたくさんいると思います。なので周りの人が意見を言いやすい環境を作ることが一番大切だと思いました。これからは自分の意見をしっかりと伝えるようになって誰かの意見を否定しないように心掛けようと思いました。

私も日頃から自分の意見が他の人と違ったら人に合わせてしまったり、周りに流されて自分の中では納得いかなかった事もあったなと気づきました。だから、これからは平和を求めすぎず、自分の意見に自信を持って相手に伝えようと思いました。また、相手と価値観が違って相手の意見を尊重しようと思います。

新型コロナウイルスによって、いろいろなところに影響があることがわかりました。また、一部の人の差別的な発言で、いやな思いをしている人がいるんだと、あらためて気づきました。自己中心的にならないようにしたいです。

最近ではコロナも少しずつ収まってきていて、心にも余裕ができてきました。しかし、まだ完璧にコロナが無くなったわけではないので間に息抜きを挟みながら今後も、コロナに気を付けながら生活できればいいなと考えました。

仏教の学びを通して自信やちからをつけたいです。 コロナでいろいろ制限される中で楽しいことを見つけたいと思いました。

新型コロナウイルスで今までなら当たり前できていたことができなくなって体育祭ができなくなったり修学旅行も予定していた場所には行けなかったり学校によっては中止になったりと、あんまりいいことがないと思っていたけど新型コロナウイルスが流行ってことで当たり前だと思っていたことは当たり前じゃないということに気づけた。 当たり前のように行事ができることなどに感謝してこれから過ごしたい。

自分というものを、しっかりと持とうと思った。世間でいろんなデマ情報や混乱させられる意見がある中で、自分で判断し、決断できる力を身につけたい。 また、コロナになって行動できる範囲が少なくなって、思い出も作りにくくなって、一年が過ぎていくのがとても速く感じるけれど、その中で楽しめる方法を見つけたい。

コロナ期間において、一人ひとり悩んだりしている人もいると思うけど、毎日の当たり前の生活を大事にして感謝の気持ちをもって生きていこうと思った。自分の悩みを自分一人で解決しようと思ったら、余計にしんどくなってもっと思い悩んでしまうから、友達や家族に相談できる範囲で話すようにしたら少しは気持ちが軽くなった。なんでもポジティブに考える癖をつけたら、いつのまにか毎日が楽しくなってると思うから、しんどい時こそ前向きに考えられる自分でいたいなと思った。

コロナ禍で人の悪いところが見えたりして、憂鬱になることもありましたが、自分を見つめなおす機会になったのではないかと思います。今日のお話で改めて人を思いやる大切さや光華の心得が大事になってくると思います。まだまだ、こんな状況がつづくとおもうので、この心を大切にしていきたいと思いました。

コロナにかかった人が亡くなったら原因がコロナじゃなくっても死亡者になってしまうことを知りとても驚きました。話に出てきたように私もコロナの影響による自粛などで感じたりしたことがたくさんありました。例えば学校生活です。いつも行くのが面倒くさかった学校やしんどくて参加したくなかった部活動などです。いざ行けなくなるととても悲しく、とても行きたくなくなりました。あたりまえだったことがこんなにも贅沢なことなんだな。と気づくことができました。

コロナウイルスによっていろいろと変わった中で、コロナに対しての思いも最初の頃よりとても変わった気がしました。最初はインフルエンザウイルスのようにすぐに収まると思っていたのですが、2年もマスク生活になるとは思っていませんでした。このマスク生活によって毎日の生活が大きく変わりました。新しいクラスになって新しい友達ができて、その人の顔が分からないことや、話が聞き取りづらいことが多くあり、とても不便に感じました。

社会の困りごとは自分たちのことのように考えて、今できる自分たちの精一杯をやることが大切だと感じました。また、小学生があんなに悩んでいるのだと初めて知りました。私は小学生の弟がいるので家に帰ったら、話を聞いてあげようかなと、思いました。これからは、コロナの減少を願いながら、コロナの対応を続けていきたいと思います。

コロナ禍が及ぼしている影響は個人だけの問題ではなく周りの環境まで含まれていて、それは決して良いものだけではないことを改めて実感しました。猿・ゴリラの社会と人間の社会を比べてみると確かに人間の社会は猿の社会に近づいてきているように思いました。

コロナ禍で思うように外出をしたりできないなか、どうしても外出しなければならない人もいるのに自粛警察をして相手を傷つける人もいるから、そんなことはなくなってほしいと思う。コロナが終息したとしてもそういうことはあってほしくないなと思いました。

知らない間にこの考えじゃないとあかんとかが強制されていた。感染してしまったりその人が全て悪いという言い方をされる。若者というだけでコロナがうつるといわれる。自粛警察ができて自粛を絶対しなければいけない世の中になっている。普段、自分の考えや相手の考えは否定してはいけない、正解はないんだから自分の考えを持つことが大切と、言われているのに今の世の中はそれがすべて否定されている。一つの感染症でこんなにも世の中が変わるんだなと思った。

相談とかできなくてストレスがたまっていて自分のことしか考えれずにてイライラしてしまっている人が多くてコロナ化を通して人がサル化しているということが確かにそうだなとおもいました。これからもそういう感染症とかが広まっておなじようなことがあるかもしれないから今の間にも人のことを考えて相談しにくいひとがいたら気づくようにしたい。

コロナにかかっているからと言って、交通事故でもコロナの死亡数に加わっているという事に驚きをもちました。またコロナの感染者は若者のほうが多いのにも関わらず、なくなっている方が年配の方に多くあるという現状を初めて知りました。この国で起こっていることなのに、なかなか関心を持っていないことがだめだなと感じました。最近減ってきているけれど、またいつ増えるかわからないからこそ、しっかり知識をつけておこうと思いました。

今のコロナ禍で私たちの行動を振り返るよいきっかけになったし、現在のコロナの正しい状況を知ることができてよかったです。また、人は猿よりもゴリラに似ているうというお話には驚き、このコロナの状況で私は猿みたいに一人よがりの、自分のことしか考えることができない行動は避けたいと思いました。今回の講堂礼拝をきっかけに良い方向に変われるようにしたいです。

コロナウイルスがうばっていた命のためにも絶対無駄してはいけないと思った。また、コロナウイルスで陽性になった人がとても沢山居て自分もいつなってもおかしくないのだなと感じました。私は中学の修学旅行はコロナウイルスの影響は無しで楽しむ事が出来ましたが、私の後輩は修学旅行が中止になったり行けたとしても縮小や部屋が一人部屋になるなどの対策が取られていてコロナウイルスの影響は凄いと感じました。これからもコロナウイルスに向き合っていくけれど、自分の命はもちろん相手の命も守れたらいいなと思います。

コロナ禍において死亡者や緊急事態宣言が増えている中、みんなが手探りではあるけれどこの状況に適応しようと努力しています。私は早くこのコロナ禍を終わらせたいと思っています。今までみたいにみんなが行動を縛られずに自由に暮らせる日が来れば良いと思いました。

お話を聞いて、コロナ禍の今だからこそ自分が主体性をもって自分から行動して行きたいと思った。私は以前このコロナ禍で他人事だったり重く受け止めてないこともあったけれど、だんだん考えて行動できるようになったので、一人一人の意識が大事なんだなと思った。

コロナの影響でそれまで当たり前になっていたことができなくなったり人とのコミュニケーションが少なくなったが、その中で今まで気づかなかったことに気づいたり自粛期間をきっかけに始めた趣味もあるからできないことが多いからとネガティブに考えず何ができるかポジティブに考えていこうと思った。

コロナがまだ完璧に治まってもなく、だい6波の予想もされており前のような普段の生活にはまだ戻れないので一日でも早くマスクが取れる生活になれるよう、気をつけたい。早く家族や友達と普通に遊びに行きたい。

コロナによって、小学生の時にこの学校に入学する理由だった中高の修学旅行が規模が大幅に縮小され、憧れて楽しみにしていた行事のほとんどすべてが中止、規模の縮小されるなどしました。私たちは大人の監視下にあるから行動を制限されざるを得ないが、大人は国に言われても自粛していない人が多く、そんな人たちがコロナの拡大を招いた要因の一つではないかと思っていました。ですが、状況は違えど貴重な、何物にも代えられない時間をなくしたことは変わらないのだということを考えることができ、コロナに対して少し楽観的になりました。

新型コロナで日常が変わってから一年以上が過ぎ、コロナ渦での生活に慣れてはきたものの、収束することなく何回も緊急事態宣言が発令され、不安やストレスで大変だけれど、改めてコロナとどう向き合っていくかについて考え直すことができました。 コロナについての情報をすべてうのみにして、ただただ怖がったり不安になるのではなく自ら情報を正しく読み取り、どうすれば予防できるか、どう過ごせばよいかを考えるべきだと気づきました。 また、自己中心的と主体的は違うもので、周りの人にこうしてほしいと求めるのではなく、自分で自分に必要なことをするということが大切だと分かりました。 おもしろかった例が、猿、人、ゴリラの性質の違いで、猿は食べ物を周りに分け与えず、利益を追い求めたらしめないが、ゴリラはみんな協力するという特徴があり、私たちもそのようにこのコロナ禍を乗り越えていかなければいけないと感じました。

若者がと言われているなか行動範囲のことなどを考えると仕方がないが、誹謗中傷が増えていること、ゴリラと人間が似ていてゴリラと猿には大きな違いがあるけど人間の誹謗中傷などにより、人間が猿に近づいていることを知った。 誹謗中傷をしない心に気を付けてコロナ渦を過ごそうと思った。

コロナで不安定な世の中だからこそ助け合いや協力が大事だと思うけど、まだまだ足りないと思うので自分ももっと心がけようと思いました。 コロナで大変だと思うけど猿のように優劣をつけたり、誰かを傷つくようなことを言ったりするのは良くないと改めて思ったのと自分もそうならないように気を付けようと思いました。 コロナだからこそ分かることやできることもあると思うので工夫して今の生活を楽しまうと思いました。

今収まりつつある、コロナですが、このコロナ禍でたくさんの環境が変わりました。世界から見て日本の死亡者数は少ないかもしれませんが、有名人でも亡くなった方はいたので、悲しいという事実には変わらないと思います。理事長がおっしゃっていた同調圧力と似ている経験を今しています。入学して数か月がたちましたが、最初から知らない人ばかりで、つい周りに合わせようとしがちになってしまい、今もそうだなと気づかされました。

コロナの状況を通して、苦しみを知っているからこそ人を思いやることが大切であると改めて感じた。

「陽性者」と「実際に発症した人」は違うということや、死者数のカウントのしかたについての話は初めて知ったので、とても驚いた。今は情報がたくさんありすぎて何が正しいのかわかりづらけれど、一つ一つをうのみにせず、きちんと確かめようと改めて感じた。

私たちはコロナに対してマイナスの方向について考えてしまうが、それをプラスの方向に変えることもできると分かった。また、少数の意見を持つ人を非難することがあると知った。こういう状況でストレス発散できるような場面が減り、普段以上にストレスが溜まってしまいがそれを人に向けないことをできる能力を人間は持っているのではないかと思った。

今までは宗教行事をする必要なんてないだろうと思っていたけれど、今回の阿部理事長のお話の中で何十年たっても宗教に関する歌を覚えていると聞いて、考えてみると私も中学生のころから4年間三帰依文は何も見ないとも言えたりしたので、大切な思い出の一つかなと思いました。また今ではだいぶコロナも落ち着いてきているのでしっかり第六波にも備える必要があると改めて感じました。光華で過ごす時間も後2年しかない時間を大切にしていきたいと思いました。

確かにコロナ禍になって一時期、緊急事態宣言がでたりして学校が休校になったり親がテレワークになったりして前よりも家族でいることが多くなり、前にはきずかなかった家族間の問題がおきたり、家にずっといることでストレスがたまったりはあるように思いました。だからこそしっかりと、話し合い、自分なりのストレスの発散法を見つけることが大切だと思いました。また、思いやりの心を持ち、発生した問題や相手としっかりと向き合っていこうと思いました。

コロナの影響で気分的に落ち込んでいるのは私だけではないということを初めて知り、同じ気持ちの人がいるということが気持ちが少し軽くなりました。また、自己中心的と自ら進むことの違いも、限度や他社への思いやりの量で変わってくるというのを再確認し、改めて気を付けようと思いました。これからは、自分のことだけでなく、周りの人のこともよく見て助け合って生活していきたいと思います。

今回の講堂礼拝をきいて、コロナ禍の中でも今、できることを考えて生きようと思いました。学生生活の中で一番青春をすることができる高校生の時に、コロナにより、行事や普段の学校生活ができなくなったり、あまり遊ぶことができなくなったりしました。でも、そんな中でも楽しみを見つけて、充実した生活を送りたいと思いました。

自分以外の人（若者）がコロナウイルスに感染してしまった時に、「外出自粛をしていなかったから」「外出して遊んだり人と接していたから」と一方的に理由を決めつけることはするべきではないと分かった。確かに、外出自粛をしなかったことでそのような結果になったのかもしれない。しかし、一概にそれだけが理由だとは言えない。もしくは、それが理由とも限らない。そして、若者は他の世代よりも行動範囲が広いので完全に自粛することは出来ないと思う。このように、どんな意見・結果にも理由を決めつけてはいけないと改めて思った。

コロナで世界中の人が苦しんでいるし最近では減ってきているけれどまだまだ油断はできない。若者の感染者空が多いといわれていたけれどもなりたくてなっているわけではないし若者は行動範囲が広くて年が言っている人は家にいることが多いからという話の部分がすごく印象に残りました。若者が若者がといわれていたけれどもこの話を聞いて自分たちだけのせいではないと心が晴れました。

私はコロナの話聞いて、同じことを思っていたのでとても共感できました。私はあまりコロナを怖いとはおもわないので、そういう人もいっぱいいると思うので、差別はダメだと思ったし、すべてのテレビの情報が本当だとは思ってほしくないとおもいました。日本は、世界の中でも圧倒的に感染者がすくないということを分かっていないひとがおおいなと生活をしていてとても感じます。

周りに感染した友達がもし出たとしても、傷つけるようなことや、差別とするような言動は絶対にしてはならないとおもいました。

コロナ禍で感染者数がなかなか減らずに最近では若者が出歩いているからだとかよく言われていて私も若い人がマスクをせずに遊びに行ったりしているのを見ていたので制服着てる私たちはもっと周りの人に気を使わないといけなかったのですが今回のお話を聞いて若者の方が高齢者よりも出歩く範囲が広いし仕方がないことだということを知り納得できました。サルとゴリラの違いとかについても人間は偉い人にこびて頭をぺこぺこ下げて生きているけれどゴリラみたいに強い人が弱い人に気配りができてみんなが平等に生きていける世界にこのコロナという時代を期にみんなが生きやすい社会になればいいなと思いました。

コロナ過の中で自分はどうすればいいのかなどが分かった。あんまりカリカリせずいろいろな人を受け入れる心を作ろうと思った。

コロナが流行ったことによって人間はゴリラからサルに変わってしまったことが分かりました。サルではなくゴリラのように人と助け合いながら過ごしていきたいです。コロナは終わったわけではではないからこれからも気を付けていきたいと思いました。

コロナ禍で大変な事が多い今の世の中で自分が今すべきことが少しわかったような気がしました。私自身は多分誰よりも自粛していると思います。けれど、周りの人はあまり自粛してない人も多くいて、私はそんな人がいつまでもいるからコロナが収まるのにこんなにも時間がかかっているのだと思っていました。実際このことも関係しているとは思いますが、今回の話を聞いて少しだけ考え方が変わりました。コロナの陽性者と年齢の関係を見たときに若者よりも高齢者の方が多いことに気づかされました。高齢者はなりたくなくともなってしまうからおさまるのに時間がかかっているんだと思うようになりました。偏見をなくそうと改めて思いました。

あくまでも個人であるので、それを意識していきたいなと思いました。他にも同調圧力をかけないなどの話を聞いて、いろんなこと言えるなと思いました。例えば、クラスや部活などです。金子みすゞさんの「みんなちがってみんないい」のように人はそれぞれ違っているのだから、気を付けていきたいなと思いました。

最近は SNS など同調圧力がすごいあるように感じていたのですが、それがサルかしていると言われる一つの原因なのだなと思いました。またその影響が今のコロナ禍にもあるというのが、とても危ない状況だと思います。なぜなら周りの目を気にして、しんどいのもかかわらず陽性だと分かるのが怖くて PCR 検査をしないという人が出てくると思うからです。そういう考えになってしまう社会は逆に感染者を増加させてしまう原因の一つになっているのだと思いました。

コロナ禍について誰が悪いというわけでもないし、今まで若者が遊びに行っているから感染者が減らないとかたくさん言われてきたけど、若者は行動範囲が広くて老人は近所や自宅にいるから感染しにくいって話を聞いてなるほどって思ったし、違う考え方があるんだなって思った。

コロナ禍になって、新型コロナウイルスに感染した人を批判する人が増えているけれどそういう人を批判するのではないことが分かりました。感染した人は、感染したくてしているわけではない。批判している人と一緒に自分も批判するものではない。

人間社会がサル化してきているという話が特に印象に残っていて、この話を聞いて自分ばかりを優先して周りや相手のことを考えないのではなくて、相手を思いやって一緒に支えあっていく大切さを改めて感じました。相手を思いやることで相手の良さにも気づくことが出来ますし、何より相手を大切にすることは自分自身を大切にすることにつながってくると思います。また、コロナ禍での差別の話聞いて、怖いなと思いました。コロナにかかることで差別を受けるのはおかしいですが、まずはしっかり対策を取ってかからないことが一番大切だなと思いました。

問題があると、すぐ周りのせいにしてしまう人間だが本当の問題の原因となっているのは自分自身で、まずは自分の姿を見つめ直して個の問題を見つけ出しそれを解決するためにはどうすればいいのかということわ考えていこうと思った。周りに惑わされ自分を失うのではなく、じぶんを持って生きていきたい。

理事長の話を通して、なんでも決めつけはよくないと思いました。たとえば、一つの情報だけをうのみにして誰かを責めるのではなくて、いろんな情報をどれが正しいのか見極めて、きちんと自分で判断するのが大事だと思いました。

コロナ禍になってきて、日本や世界が大きく変わっていく中で、たくさんの人が思うことがそれぞれあるんだと思いました。ゴリラに似ているのがだんだん猿に似てきているとか、悪いほうへ変化していることもあるのでいいことは変化させていって、悪いほうに流れていかないようにしていきたいです。

今は特にコロナでいろいろと制限されて自分がしたいことなどができないことが多いけど、だからこそ考えさせられることが多くあると思います。なので自分ができるところをしっかりと考えないといけないなと思いました。

今回の講堂礼拝で阿部理事長先生のお話を聞いて、私も同調圧力を作らず、同調圧力に負けないような学校生活を送れるよう日々努力していきたいと改めて思いました。

コロナ禍の今は、自分の意見や思ったことを、相手に伝えるということが難しいこともあるけど、自分の意見は見失わずに伝えることは大切だなと感じました。そして、思うようにいかなくて大変な時は、家族や友達に頼ったり、頼ってもらえるようになりたいです。

今回理事長先生からのお話を聞いてコロナ禍で緊急事態宣言が何回も出されて最近また解除されて感染者も減少し少しずつもどりの生活に戻ろうとしています。その中で人は自分の不安定な情緒から相手を傷つけたりしてしまいます。テレビなどでコロナで家にいることが多くなり喧嘩が増えたなど急に日常が変わってしまいなれないことから不安になります。私自身も将来の不安やこれからのことを考えたりしました。これからはしっかり対策をしていままでのように楽しい生活を送りたいと思います。

コロナで若者が多かったけど、コロナワクチン打って、少なかったそうで、私は、うれしいです。なくなった人も多かったけど、陽性者もいろいろ多かったのも、気を付けていきたいです。また、これからは、いろんなことをしていきたいです。

今、世界中ではコロナで苦しめられている世の中にあり、私が入学してきた当初から色々な事が制限されたり、クラスの子と早く仲良くなりたくても「三密」という言葉に縛られてなかなか仲を深められずにいました。ですが、このコロナ禍であってもできることはたくさんあったし、今までにない状況下でたくさん悩んできましたが、世界はいつでも進化しているし、もう起きてしまったものは仕方がないので、できることはしてこの世の中に貢献したいと思います。

阿部理事長先生のお話を聞いて、まだコロナが続いていて世界規模で見たら日本はまだ少ない方だけれど、それでもやっぱりコロナでの死亡者はたくさん入るし、気を付けないといけないなと思いました。若者は行動範囲も広いからコロナ感染者が多いとおっしゃっていたので、人に移さないためにはまずは自分にならないことが大切だと今日のほうわを聞いて思いました。

感話を聞いて人間がゴリラのような優しい心から、猿のように人に厳しい人になっているのは、よくないと感じた。コロナという窮屈な社会でも人を思いやる気持ちをもって生活していこうと思った。

コロナ禍の中で学校生活を送るということは今までとは違って、大変なことやストレスのたまることもたくさんあったけど、コロナが収まってきた今、今まで当たり前にかけていたことが当たり前にかけていることに対して感謝しないといけなかったし、当たり前のことではなかったのだと感じさせられました。相手のことをよく知らないのに SNS 上で誹謗中傷やそのことに対する勝手な偏見だけでは決めつけてはならないし、心にその気持ちがあるのはまだいいものの、言葉にしていうのはいけないことだと思います。

新型コロナについて改めて振り返ると、様々なことが制限されていたなかで、自分たちの気持ちや心の変化は知らず知らずのうちにおこっていたんだなと思いました。

コロナ化になってから大切な事とかを忘れることが、多くなったので今回の話を聞いて残りの学生生活どう過ごせばいいとかいろんな人との、コミュニケーションをもっと大切にしようと思いました。今回の話を聞いて上記にも書いてあるように、いろんな人とのコミュニケーションを大事にしようと思っていました。

コロナ禍での SNS や社会の様子について知ることができた。コロナによっていろいろな声があり、それで傷ついてしまうことがあるということ

コロナの感染者数と陽性者が違うことを初めて知りました。 コロナは若い人がたくさんになっていることは事実だけれど勝手に若い人だからコロナになるなどと決めつけてしまうのはよくないなと思いました。 人を見た目だけで判断することはよくないしそのことで傷ついてしまうかもしれないので気を付けたいと思いました。

コロナウイルスが広まって、今まで通りの生活ができなくなった。初めのうちは、怖かったし、一人感染するたびに京都にも広まったらどうしようと思っていた。でも一年経って、それが当たり前になって今ではあまり何も感じていない。みんなもそうだと思うけど、それのせいでまたコロナにかかる人が多くなるんだと思う。今は収まってきているので、当たり前だと思わずに対策を続けたい。将来に影響が少なくなるようにしたいと思う。

感染者と陽性者の違いや、なぜ死亡者数が多かったのかなど、自分たちがよくわかっていないことが判明したことで少し安心しました。自分でも知らずのうちに「こうして何度も外に出ているから感染するんだ。」などの良くない考え方をしていたなと思いました。確かに今の時代だとゴリラ達の生き方ではなく、猿の生き方に近いなと思ったので、そういった偏見なども取っ払って過ごしていればゴリラの生き方に戻っていけるのではないかと思います。

お話を聞いて、人間の先祖が猿ではなくゴリラが先祖ではないかということを知り、確かに猿よりもゴリラのほうが集団であったり食べ物を分け合ったりしていて今の人間に近いと思う。また、コロナによってインターネットを使うことも多くなったけれど送っている人の顔が見れない分、誹謗中傷が多くなり傷つく人も増えていると感じる。しかし、みんながコロナによって精神的に不安定になった時に誹謗中傷するのは違うと思うので制限などもあるけれどその中でみんなで乗り越えていく必要があると感じた。

コロナウイルスの感染者であったり、それで死亡した人の人数が10000人以上もいることを聞いてしっかり知ったことがなかったから驚きました。コロナウイルスが感染している中自分ができることを見つけて日々を大切にしていきたいと思いました。

中三の三学期ぐらいからコロナが流行ってきて今まで当たり前だと思っていたことが全部崩されていった中で今日の話聞いて学校だけじゃなくて会社やいろんなところでも同調格差とかが起こったりいろいろ考え方が変わって利しているんだと知った。私もコロナになってから気持ちが沈んだりイライラしたりしたけど、こんな時だからこそできることはたくさんあるし、もし将来こんなことになったとしたら今回学んだことを生かしているんなことにつなげていきたいです。

今日の緩和を聞いて納得がいく内容のお話が多かったなと感じました。特に学校内の学びを通して自分でなにが正解でなにが間違っているのかという判断はしっかりとできるようになりたいなと改めて思いましたし、今後生きていくために必要なことだとも思いました。今コロナ禍で不安に思っていることやストレスを発散する場所がない中で今まで自由に過ごせていた環境に感謝するとともに今後同じような世界的に何か起こった時のために気持ちに余裕のある生活をしたいです。今日はありがとうございました。

まず新型コロナウイルスについて今どのような影響が出ているのかや世界ではどうか、小さな子供たちはどう思ってるかなど細かいところまで知ることが出来た。自分自身も振り返らないといけないことが沢山あったし、もっともっとこの世の中がよくなるように努力していきたい。

今回の講堂礼拝で、理事長先生の話の中に、陽性者数は、コロナに感染した人ではないなど、初めて知ることできたお話が沢山ありました。私は、去年自粛期間中、学校に半年間登校することが出来ず、とても不安が募っていました。私だけだったのかと思っていましたが、沢山の皆さまが不安を抱えてたのだと知り、本当にコロナは大変だったのだと気づくことができました。とても貴重なお話をありがとうございました。

今日のお話を聞いて、一度はみなやったことがあることだと思った。人に合わせてしまうことは、学校などの大勢の人がいる場所では特にやりがちだ。私も気づかずやってしまうことがある。人に合わせることで自分の意見を失ってしまう。そのようなことが多くある。なので私は、人の意見に惑わされるのではなく自分の意見を大切にしようと思った。

本日の講堂礼拝の授業でこのコロナウイルスが今も自分たちの生活の中で存在しているウイルスでもあり授業などで今までは発言もできないし大きな声で話すこともできない環境なのでこれから第6波がくる中でとても怖いなと思いました。

コロナは、誰しもがなるものなので気を付けようと思ったし、今自分ができることは何だろうと考えることもできました。また、初めの方に出てきたスライドで感染者などの人数を見ると、びっくりしたので気を付けようと思いました。

理事長先生からのお話を聞いてまずはコロナについて深く考えることが出来ました。数字やグラフにしてコロナ陽性者などを見ているととても多くて驚きました。このコロナ禍で京都光華生としているからにはしなければならぬことがたくさんあるなと思いました。コロナ禍でマイナスな気持ちになってしまうと思うけれどそれを前向きにとらえて毎日明るく元気に過ごしていきたいです。パンデミックという言葉が知らなかったけれどお話の中に得てきて学ぶことが多くありました。このお話を生かしてこれからの学校生活を充実させていきたいです。

高校に入ってからコロナ関係でクラスメイトとの交流などあまりうまくいかなかったりしました。コロナが流行すること自体想像もしなかったので、これからの高校生活がとても不安になったりもしましたが、今、コロナについて考えてみると、昔はニュースなどにあまり興味がなかったりしていましたが、社会がどうなっているのかなど考えなければならぬと思います、ニュースをよく見るようになりました。コロナについて考えるのとともに社会に興味を持ったきっかけになりました。これからまたどのように社会が変化していくのかあまり想像できませんが、しっかり考えて、自分で行動しなければならないなと先生のお話を聞いてあらためて思いました。

悩みや不安は周囲の何かが自分に及ぼしている影響かもしれないけれど、実は自分自身の問題だということと、自分の事だけ考えるのではなく周りの人にも配慮することが大切だということが分かりました。また、自分が気付かないうちに少数派の人に圧力をかけてしまっていたり、不確かな情報をうのみにしているかもしれないので、これから気を付けて過ごしていきたいと思いました。

今回の講堂礼拝はいつもと違い、一時間あってとても深く、良いお話を聞かせていただくことができたと思っています。私たちは毎日を過ごす上でただ淡々と時間が過ぎるのを待つように一日を過ごすのではなく、いかに充実した毎日を過ごせるのかを考えることは大切なのだと講堂礼拝のたびに気づかされます。他者に求める自己中心と自分に対する自己中心は違うものだというお話が印象に残っています。今回のお話も自分の生活の中で生かしていけるようにしたいです。

自分が主体となって引っ張っていくのと、自己中心的になるのは違うという言葉聞いてまさにその通りだと思った。みんなの中心となって物事を進めようとするのはすごく良いことだと思うけどそこで自己中心的になってほかの人がいい思いをするかっていわれたら絶対そんなことはないと思う。いま研修旅行を控えた中でこの言葉は大切にしていけないといけないと思った。これから自分が中心となって物事を進めないといけないという場面が全体あると思うし、その時にはしっかり自分の意見に周りを従わせるとかではなく、周りの意見を主に聞いてあげられるようにみんなが楽しめるような工夫ができるといいなと思った。

現在の私たちの生き方は、ゴリラ社会に近いものではなく、弱い者に圧力をかけ強い者だけが残って、自分の利益のみを重視するサル社会に近づいていることがよくわかった。コロナ渦になり、自分の行動も相手の行動も見直す機会が増えて、自分の考えを押しつけて相手に強要するのは主体性とは違うということが、話しを聞いて、本当にその通りだと思った。

コロナ禍に私達の生活が抑制され、窮屈に思い始めるころだが死者数を見るとやはり仕方のないことのように思いました。多くの人が亡くなる現状に心が痛む。しかし、最近は若者に限らず、自粛疲れが多くなってきました。初めの頃は日本全体が一つになっていたが、最近ではそれぞれの意識にバラツキが見られる。そのことからもう少し他人にも目を向けてみようと思います。

今のコロナ渦について教えてくださって、たくさんの人の気持ちを知れました。コロナのせいで行事もなくなって悲しい気持ちをたくさんしているのは私だけではないということがわかりました。大人の世界でもたくさんの悩み事やもめ事が起きていることを知りました。第四波まで緊急事態宣言が出されていて、また第五波がくるかもしれないという危機感をもって気が緩まないように日常生活を過ごしていきたいと思いました。コロナの時代になったことによって家族との時間も増えていいこともありました。プラスととらえて過ごしていったら楽しくなると思いました。

今日の講堂礼拝の話を聞いて、コロナが早く収まってほしいなと思いました。コロナでいろんな人が困っているし、自分も困っているからです。自分の親も医療従事者で、毎日忙しいそうです。コロナを一刻も早く収束させるには、自粛だったりワクチンだったり、できる限りのことを全力ですることだと思います。自分勝手にしてたら収まらない。早く収まればいいなと思いました。

コロナの影響で色々な問題があったり、世界が大変だったと改めて思いました。また、私は子どもなので私なりの考え方があるけど、大人の考えなどもわかりやすく話して下さりとても聞いていて納得できました。今はだいぶコロナもなくなってきていて、昔の状況にもどりつつあるけど、まだ気をぬけないとおもいます。一日を大事にすごしていきたいです。

人がコロナ化において考え方やモノの見方が変化していき、自己中心的な考え方になってきているということを学びました。誰しもがかかる感染症なので自分の命は守りたいはずではあるから自分が良ければすべて良いという考え方で生きてしまうと全然回りが見れていないのでどんどん感染者は増えていくのでみんなが協力することが自分のためにもなるし相手や、世界の人までもが救われるようなことにつながると思いました。なので、まず、自分のことを優先したくても周りのことも考えてみんなを優先できるようなひととしていい行動がとれる人になりたいし、人を助けられる人になりたいと思いました。

人間が、どんどんサル社会になって行ってるというのがすごく驚きました。どんどん退化していくとそのうちどんどん悪い方向に進んで行って、平和ではない世の中になって行くのかなと思いました。コロナ渦になって誹謗中傷がすごく激しくなってきた、同じ人間なのにどうしてじぶんばかりなのかなと思いました。

今日の行動礼拝でコロナウイルスの影響で今まで普通であったことが普通でなくなってしまったということに改めて気付きました。そしてこのような生活になってしまったという不安などから真実なのかそうでないのかの判断ができず振り回されたり、少数意見は周りの圧力に負けてしまい言えなかったりするという風に変化していることがわかりました。それに負けないように生活することが大切だということがわかりました。

コロナ禍であまりプラスの気持ちにならない事が多い日常生活が長い間続いています。今回のお話を聞いて自分からプラスの気持ちにしていく事が大切だと感じる事が出来ました。ですので、まだ続いているコロナ禍のなかですが、プラスの方向に気持ちを向けて過ごしたいと思います。

コロナ禍で大変なことがたくさん起こっていて気持ちがしんどいかもしいかもしれませんがお互いが思いやりをもって生活していくことがとても大切だなと思いました。

今までは当たり前できていたことが当たり前できなくなって、それにより不安が積もってなくなる方が以前より大幅に増えたことに気づきました。その中で大切なのが自分の意見をしっかりもち、他者に対して暖かく意見を聞き入れること、そして人と人のつながりを大切にすることだと改めて気づかせれた講堂礼拝でした。何より一番大切だと思ったことは、自分自分ばかりになってはいけなくて相手に対して敬う心がとても大切なことだということが自分の実生活を通して感じ取れました。

この、コロナ禍で人間が弱者と強者を分けて、エサもみんな分けて食べないようなサル化になってきているのは人間として悲しいことだと思った。ウイルスのせいで、人間の本質までもが変化してしまわないようにするには 他者への思いやりが一番大切なことだと思った。

コロナ禍の中で辛いこともありますが、第六波を迎えないようにするために、私も3密を避けて生活していきたいです。

しっかりとした形式に従って、落ち着いて礼拝を進められたのでよかったです。阿部先生の話では、改めて今の現状とこれからどうしていけばよいかを具体的に知ることができてよかったです。

第六波が来るかもしれないということなので今日聞いた話をもとに気を付けて楽しい生活を送りたいなと思いました。もう一つは、最初にお話しされていた陽性者数や死者数にはからくりがあるので数字だけに惑わされないようにしようと思いました。

感話を聞いて、インフォデミックに惑わされないことや、無意識のうちに同調圧力をかけないことが大切だと分かった。コロナが流行してから私たちは無意識のうちに勝手な偏見を持ったり、同調圧力をかけてしまっていることに気づいたので気を付けて生活していこうと思う。

感染者と陽性者の違いを知ることができ、若者がコロナウイルスを流行らせているといわれているけれどそれはその人の行動が原因であり、いくら対策をしてもかかってしまう人はいるのでかかった人に対する偏見、差別は良くないと思いました。またゴリラとさるより、人間とさるの方が似ているというのが面白うなと思いました。

自分の事ばかりを考えたり行動にするのではなく、人と向き合って人のためを考えて行動できる人になりたいと思いました。また、ただ単に大人の真似をしたりするのではなく自ら考えて正しい道を自分で選べる人になりたいと思いました。

コロナウイルスの影響で、普段当たり前にできていたことができなくなったり、さまざまな制限がかかったりと、悲しいニュースが多いけれど、そんな中でも日々の中で楽しみを見つけて、前向きに学校生活や部活動などを送っていきたいと思いました。マイナスな感情を他者にぶつけるのではなく、お互いに支え合い、協力していきたいです。

私は、普段ネットで目にしたものや、友達から聞いたものなどが本当のことなんだと思っていたけど、それが本当の情報とは限らないことだと思いました。確かに私もコロナにかかった人についてのニュースを見ると「この人たちがなんの感染対策もせずに街中ブラブラ歩き回ってるから自業自得やな」と、思っていたけれどたまたまかかってしまった人もいるし偏見は良くないと思いました。正直に今まで仏教にあまり興味がなかったけどこのような話が聞けて良かったと思いました。

今日のお話を聞いて、最初に話されていたコロナウイルスの陽性者数や死者数などの数字を見て改めてコロナウイルスの怖さを知りました。そして、仏教は個の問題とおっしゃっていて、そうなんだと感ずることができました。

お話を聞いていて自分が考えてもいなかった事をおっしゃっていて、凄く心に残りました。それは新型コロナウイルス感染症の話です。そこで新型コロナウイルスの様な感染症は将来でてき、大流行する可能性もあるとおっしゃっていて、かんしんし、これからはしっかりと手洗いうがいをしようと思いました。

高齢者はコロナにかかりにくい分、重症化しやすく、若い人たちはかかりやすい分、重症化しにくいので、若い人も高齢者もお互いがコロナに気を付けていかなければならないなと感じました。コロナの影響により、家族で過ごす時間が増え、友達と過ごす時間が減っているからこそ、学校などの生活により不安や居心地の悪さなどが生まれているのはとても共感できるなと思います。これからはマスクや手洗いうがいを心がけるのはもちろんのこと、普段気づかなかった人々の優しさに触れて、私も何か人に親切にできることをしたいなと思いました。

講堂礼拝で、仏様に対する感謝や敬いの心を表すための行いをひとつひとつ確認しながら過ごせた。また、自分たちが普段、光華で学んでいることは、これから生きていくための力を培う大切な学びであることに気が付いた。コロナ禍の今、またこれから同じような事態が起きた時に、さまざまな職業や立場が協力することの大切さを感じられたお話だった。今日のお話を忘れずに、生活やこれからの人生に活かしていきたいと思った。

小学6年生の子が、大人は大人で大変なのだと思ったということに驚きました。小学生も夏祭りに行けなかったり、修学旅行がなくなったりといろいろしんどいと思うのに、大人のことまで気を配っていてすごいなと思いました。コロナ禍でいろいろなことに規制がかかり、理想の学校生活とは離れていますが、みんな思いは同じだと信じて今できることを精一杯していこうと思います。また、コロナのおかげで普通の生活ができることが当たり前ではないのだとすごく感じました。学校に行けたり、練習ができたことに今まで以上に感謝して生活できるようになりました。

今回、お話を聞いて自分自身がどうなりたいかをかんがえて行動しようと思いました。今まで、具体的にイメージすることをしていなかったので普段の学校生活で意識しながら行動するようにします。

これから私たちが生きていく時代はコロナウイルスとともに生きていく時代である。そのうえで、ただ、ネガティブに生きていくよりも、何かいい方法がないであろうか、何か方法はないであろうか、もっと他に可能性がないであろうか、もっと他に方法はないであろうかと考えて生きていく方がよりよい人生を送れるだろうと思ったので、これからそのような考え方をして、生きていけたらよいなと思います。

私が一番心に残っている内容は集団についてです。礼拝の講話ではサルとゴリラを例えとして話してくださいました。私にとって集団は協力するメンバーであり、ここにいたいと思う好みの居場所です。サルは自分の利益のために、と聞いた時は驚きましたが、人間も似たようなものかもしれないと思いました。好みの人もいればこの集団なら大丈夫と好みじゃなくても受け入れてる人もいます。サルは将来のためにというひとつの考えですが、人は様々な考えで様々な居場所を持っていると思います。それは凄く素敵なことで人間にしか出来ないと思うと私にも今よりももっと出来るのではないか、と思いました。

コロナ禍になってから以前と変わってしまったことがたくさんあり、生活する中で不安や恐怖などのマイナスな気持ちになっている。この中で私たちに求められることややるべきことを知ったり考えたりすることが大切だと感じた。サル・ゴリラ・人間の違いや共通点についての話はとても分かりやすく、人間があるべきこれからの姿を知ることができたのでよかった。

今回の講堂礼拝で私は、このコロナ渦で人々の心が疲れてきていると思いました。阿部理事長先生のお話の中でもおっしゃっていた通り、新型コロナウイルスが流行り、今までとは違う生活にいきなり変わり、私も戸惑うことが多かったです。また、緊急事態宣言が発表されてもそれが頻繁に起こると心の中で「ああ、またか。」と思うようになって気がゆるんだりするようになったり、学校の行事が中止や延期になる中、東京オリンピックを開催した政府にちょっとした不安をもったりしました。けれど、今回の講話で自分とは違う視点の意見について知ることができてよかったです。これから、私は周りのことをよく見て行動していきたいと思います。

これから私たちは社会に出て様々な人と関わりをもって生きていくと思います。その中で、自分を優先しすぎずに相手のことを考えて、時には我慢することも大切なことだと思いました。それがさらに自分の成長にもつながるのではないかと感じました。コロナ禍の中でも楽しく過ごせるように、相手の気持ちを汲み取って充実した日々を送りたいと思います。